



▲寄付金を尾垣有三教育長(右)に手渡す谷口会長

田川商工会議所女性会が寄付

児童文庫購入に役立てて

10月26日、田川商工会議所女性会(谷口寿美子会長)が市役所を訪れ、図書館児童文庫購入費とTAGAWAコールマイン・フェスティバルの運営資金に役立ててとチャリティーパーティの収益を寄付しました。

女性会からの寄付は、昭和63年から始まり、寄付によって購入した本を、図書館の児童室に「田川商工会議所女性会文庫」として設置しています。

最近では、寄付金を活用して大型絵本を購入。大型絵本は個人だけでなく読み聞かせボランティアにも好評です。学校・幼稚園・子ども会などの催しにも利用され、利用者からも喜ばれています。

全国スポーツレクリエーション祭準優勝を報告

グラウンドゴルフで健康といきがづくり

10月27日、田川市グラウンドゴルフ協会会長の長友壽一さん(69歳)が、福岡県グラウンドゴルフ交歓大会(10月1日開催、850人参加)で優勝、全国スポーツレクリエーション祭(10月19日開催、520人参加)で準優勝に輝き、伊藤信勝市長に報告しました。

長友さんは、若いころバスケットボールと野球で国体に出場した経験を持つスポーツマン。23年前からグラウンドゴルフに取り組み、協会設立や普及に尽くしてきました。

「みんなと一緒に健康で長生きできるよう続けたい。2年後には田川で九州大会か県大会の開催を」と次の目標を語りました。



▲市長に結果を報告する長友さん(左)

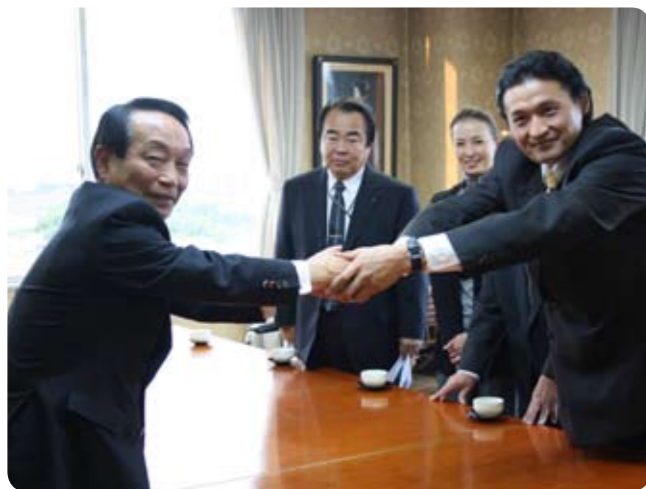
貴乃花親方が協力要請

田川で大相撲巡業を

11月6日、日本相撲協会巡業部副部長の貴乃花親方が伊藤信勝市長を訪問し、来年12月に田川市総合体育館で開催予定の巡業への協力を要請しました。

田川市には、以前貴乃花親方の父、先代二子山親方(初代貴ノ花)の後援会がありましたが、4年前の死去で解散。今年7月、親交が深かった今宮正輔さんを中心に市内の有志約80人が集まり、「田川貴乃花部屋」を結成しました。

貴乃花親方は、「田川は父の第二のふるさと。追善巡業を行い、たくさんの人に生の力士、相撲を見ていただき、地域の役に立ちたい」と話していました。伊藤市長も、「相撲を通じて青少年の健全育成をはかりたい」と歓迎していました。



▲市長と握手をする貴乃花親方(右)

風雅がニュージーランドで演奏交流

日本の尺八を世界へ

10月21日、田川市の和楽器の会風雅(久保誠三郎会主)が、ニュージーランドで開催された親善行事「Taste of Japan」に招待され、演奏会を行いました。

今回で3回目となる公演では、日本民謡や童謡、クラシックやジャズなど誰もが一度は聞いたことのある曲を演奏し、3回の公演で訪れた観客約1万人から大絶賛されました。

ニュージーランドでは、即興で演奏を依頼されることもあり、「日本文化への関心の高さをあらためて感じました」と久保さんは話していました。現在、久保さんは演奏会だけでなく、尺八の作成やゲストティーチャーなどを通して、日本の古典文化を広める活動を精力的に行っています。



▲ウェリントンの博物館で現地の人と演奏する久保さん(右)



▲参加者に合唱を披露する生徒たち

金川ウオーキング大会

もっと金川を知って!!

10月23日、金川中学校2年生47人が企画した「来てみんなね!金川ウオーキング大会」が実施されました。

2年前から「郷土を知り、その魅力を広めよう」と、2年生が総合学習で取り組み、生徒みずから企画・運営しています。今年は、北九州市や佐賀県などから約70人が参加しました。

平成筑豊鉄道精駅を出発し、ロマンスが丘で昼食。ロマンスが丘では生徒全員で合唱を披露。参加者からの「アンコール」にも応え、参加者からは「すばらしい」「ありがとう」という声も聞かれました。また、パプリカなどの金川の特産品を中学生が販売し、参加者はおみやげに次々と購入。参加者にとって、金川の魅力を満喫した一日となりました。

金銀銅メダル6個獲得

田川の鉄人健在

10月26日、ワールドマスターズゲームズ(シドニー)でメダルを獲得した麻生勝弥さん(後藤寺西団地、83歳)が、大会結果を報告するため伊藤信勝市長を訪れました。

麻生さんは、学生時代陸上の投てき選手として活躍。その後、陸上から遠ざかっていましたが、還暦を過ぎたころ、知人が現役として活躍しているのに刺激を受け、競技を再開。今までに数多くの大会でメダルを獲得し、獲得したメダルの数は700個以上にもなるそうです。

「健康のために始めたことだが、段々目標が高くなった。次の世界大会でも多くのメダルを取りたい」と意気込みを話しました。



▲獲得したメダルを手にする麻生さん